



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 極洋
コード番号 1301 URL <http://www.kyokuyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田 久樹
問合せ先責任者 (役職名) 企画部長 (氏名) 木山 修一

TEL 03-5545-0703

四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	44,858	3.9	1,006	114.5	1,104	63.0	877	161.8
25年3月期第1四半期	43,191	0.9	469	△34.9	677	△17.0	335	△29.4

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 1,200百万円 (310.3%) 25年3月期第1四半期 292百万円 (△31.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	8.35	—
25年3月期第1四半期	3.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	88,171	19,322	21.6
25年3月期	83,245	18,683	22.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 19,000百万円 25年3月期 18,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	86,000	0.5	1,300	230.3	1,200	95.9	600	274.6	5.71
通期	177,000	△0.6	3,300	42.0	3,200	41.4	1,800	41.8	17.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	109,282,837 株	25年3月期	109,282,837 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	4,248,977 株	25年3月期	4,248,359 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	105,033,966 株	25年3月期1Q	105,034,776 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2P
(1) 経営成績に関する説明	2P
(2) 財政状態に関する説明	3P
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3P
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3P
3. 四半期連結財務諸表	4P
(1) 四半期連結貸借対照表	4P
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6P
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8P
(継続企業の前提に関する注記)	8P
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8P
(セグメント情報等)	8P

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州経済の回復の遅れや中国経済を始めとする新興国経済の減速など懸念要素は残っているものの、新政権による経済財政政策により輸出や個人消費には持ち直しの傾向が見られ、回復の兆しが見え始めてきました。

しかしながら水産・食品業界におきましては、原料コストの上昇に加え、政策効果が実体経済に波及するまでには至っておらず、消費者の生活防衛意識による節約志向、低価格志向は依然として根強いものがありました。

このような状況のもと当社グループでは、中期経営計画『パワーアップキョクヨー2015』が2年目に入り、目標達成に向けて取り組んでおります。また市販商品ブランド『シーマルシエ』を発表し、市販商品を拡大するとともに家庭用冷凍食品マーケットへの参入に向けて準備を進めております。

水産商事セグメントでは、水産物市況が堅調に推移する中、加工原料の取り扱いに加えて、定塩さけ製品やえびの剥き身、凍魚加工品などの付加価値製品の拡販に努めました。その結果、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

冷凍食品セグメントにおける水産冷凍食品事業では、寿司種を中心とした生食用商品を大手回転すしチェーン向けに、さばを中心とした骨なし切身、焼魚、煮魚などの加熱用商品を医療食や宅配ルート、大手量販店向けに拡販を行いました。調理冷凍食品事業は、かに風味かまぼこやエビフリッター、畜肉加工品などを量販店や外食産業向けに販促を図りました。その結果、この部門の売上は前年同期を上回りましたが、円安を含む生産コストの上昇や販売競争の激化により利益は下回りました。

常温食品セグメントでは、主力の水産缶詰や海産物珍味を量販店や大手コンビニルートへの拡販及び新規商材の開発に努めました。その結果、売上は前年同期を上回ったものの、原料価格の上昇や販売競争激化により利益は下回りました。

物流サービスセグメントにおける冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めました。冷蔵運搬船事業は、大幅にスリム化された船体編成のもと、生産量の回復したバナナ輸送を中心に事業展開を図りました。その結果、この部門の売上は前年同期を下回ったものの、利益は上回りました。

鯉・鮪セグメントにおけるかつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料を活用した加工品の販路拡大と在庫水準の適正化を進めました。海外まき網事業は、魚価が堅調に推移したものの、船舶の定期修繕による操業日数の減少により、漁獲量は減少しました。養殖事業は、順調に水揚げが進み、また品質に対する評価も高く、堅調に推移しました。その結果、この部門は売上、利益ともに前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は448億58百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は10億6百万円(前年同期比114.5%増)、経常利益は11億4百万円(前年同期比63.0%増)、四半期純利益は8億77百万円(前年同期比161.8%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ49億25百万円増加し、881億71百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金、たな卸資産が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ43億50百万円増加し、668億18百万円となりました。固定資産は、有形固定資産、無形固定資産ともに減価償却により減少したものの、投資有価証券の評価差額などの影響により、前連結会計年度末に比べ5億74百万円増加し、213億52百万円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金、短期借入金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ42億85百万円増加し、688億48百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ6億39百万円増加し、193億22百万円となりました。

この結果、自己資本比率は21.6%(前連結会計年度末比0.5ポイント減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期の連結業績は予想の範囲内で推移しましたが、平成25年7月11日付「厚生年金基金の代行部分(将来分)返上に伴う特別利益の計上について」にて公表の通り、第2四半期及び通期の連結業績予想に関しましては現在算定中であり、確定次第お知らせいたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当する事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,888	4,042
受取手形及び売掛金	22,579	23,129
たな卸資産	32,307	34,985
その他	3,719	4,690
貸倒引当金	△26	△29
流動資産合計	62,467	66,818
固定資産		
有形固定資産	11,281	10,948
無形固定資産		
のれん	196	123
その他	378	341
無形固定資産合計	575	464
投資その他の資産		
投資有価証券	5,185	6,450
その他	3,745	3,492
貸倒引当金	△11	△3
投資その他の資産合計	8,920	9,939
固定資産合計	20,778	21,352
資産合計	83,245	88,171

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,183	9,243
短期借入金	23,191	27,135
コマーシャル・ペーパー	10,000	10,000
未払法人税等	1,288	308
引当金	722	372
その他	6,960	6,818
流動負債合計	49,345	53,878
固定負債		
長期借入金	8,153	7,957
退職給付引当金	5,832	5,959
その他の引当金	98	66
資産除去債務	51	51
その他	1,081	935
固定負債合計	15,216	14,969
負債合計	64,562	68,848
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,664	5,664
資本剰余金	749	749
利益剰余金	12,846	13,198
自己株式	△747	△747
株主資本合計	18,512	18,864
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△113	△94
繰延ヘッジ損益	142	163
為替換算調整勘定	△104	66
その他の包括利益累計額合計	△75	136
少数株主持分	245	321
純資産合計	18,683	19,322
負債純資産合計	83,245	88,171

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	43,191	44,858
売上原価	38,275	39,245
売上総利益	4,915	5,612
販売費及び一般管理費	4,446	4,606
営業利益	469	1,006
営業外収益		
受取利息	24	15
受取配当金	74	62
補助金収入	60	44
為替差益	93	25
その他	61	46
営業外収益合計	313	194
営業外費用		
支払利息	97	86
その他	7	9
営業外費用合計	104	95
経常利益	677	1,104
特別利益		
固定資産処分益	7	0
企業結合における交換利益	—	197
投資有価証券売却益	—	12
国庫補助金	30	—
特別利益合計	38	210
特別損失		
固定資産処分損	0	0
その他	3	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	712	1,315
法人税、住民税及び事業税	190	389
法人税等調整額	150	78
法人税等合計	340	467
少数株主損益調整前四半期純利益	371	847
少数株主利益又は少数株主損失(△)	36	△30
四半期純利益	335	877

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主利益又は少数株主損失(△)	36	△30
少数株主損益調整前四半期純利益	371	847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	19
繰延ヘッジ損益	△34	21
為替換算調整勘定	162	313
その他の包括利益合計	△79	353
四半期包括利益	292	1,200
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	175	1,088
少数株主に係る四半期包括利益	117	111

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当する事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当する事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益 及び包括 利益計算 書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	19,634	11,616	3,895	1,019	7,007	17	43,191	—	43,191
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,621	655	46	249	793	218	5,584	△5,584	—
計	23,256	12,271	3,942	1,269	7,800	235	48,775	△5,584	43,191
セグメント利益又は 損失(△)	221	18	27	△140	357	25	510	△41	469

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額41百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用91百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	水産商事	冷凍食品	常温食品	物流 サービス	鯉・鮪	その他	合計	調整額 (注1)	四半期 連結損益 及び包括 利益計算 書計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	20,223	12,270	4,434	692	7,219	18	44,858	—	44,858
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,992	823	36	244	331	213	5,641	△5,641	—
計	24,215	13,093	4,471	937	7,550	231	50,499	△5,641	44,858
セグメント利益又は 損失(△)	844	△138	8	23	382	35	1,156	△150	1,006

- (注) 1. セグメント利益又は損失の調整額150百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用163百万円が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当する事項はありません。